

患者会とは

「患者会では何をしているのだろう」と思われる方々も多いのではないのでしょうか？
「患者会」には、患者さんとそのご家族のための大切な役割があります。

まず、“患者さん自身が自分の体のことをよく知ること”、そして“病気の性質”を理解することが大切です。自分の病気の名前や症状、薬の種類や副作用など、詳しい話や十分な理解が出来ないときなど、今すべきこと（安静にするのか、働いてもよいか、外出はよいのか等）を考えます。病気になると誰しも不安を感じ、悲観してしまいがちですが、病気に向き合いよく知ること、現在だけではなく将来何が出来るのかなど、自分の“何か”に気付くことが出来ます。また、自分の病気に向き合いながら、医師の協力や医療機関より情報を得て治療を行うという考え方も大切です。

“患者会”では、より詳しく病気についての知識を得るために、医療講演会や相談会を開催し、会員同士が情報交換等を通じて交流しています。経験したからこそ理解できる気持ち、経験しなければわからなかった医療費や通院の大変さ、職業や学校のこと、家族や生活について、同じ気持ちを分かち合う場所でもあります。



↓各タイトルをクリックすると、詳しい内容をご覧頂けます↓

○乳がん患者会「つながり」